

# 大一番での主将の一発が

## 1回戦

10年秋季リーグ  
第6週・10月12日  
1勝0敗



# 駒大7-3東農大



【左】笠間は試合を決める本塁打を放った

# チームを救った!!!

【下】序盤、制球に苦しむも後半は好投を見せる白崎勇



## 千石の奪三振と好投!

【左】8回、本塁打を放ち、仲間と抱き合う笠間(真ん中)

2度のリードを奪うもすぐさま追いつかれ、同点のまま迎えた8回。主将・笠間将裕(商4)の3点本塁打で試合を決定づける。

先発・白崎勇(管3)も、立ち上がりこそ制球に苦しむが、回を重ねるごとに調子を上げ、二桁奪三振の力投を披露。対東農大初戦を白星で飾った。

暫定首位に立つ駒大。ともに勝ち点4の可能性を残す東農大との戦いは、敗れば優勝から大きく遠のく天王山。1部昇格のためには絶対に落とせない重圧の中で、試合が続く。

駒大	102	000	031	7
東農大	102	000	000	3



【右】勝ち越し適時打を放つ山下



【上】2死二、三塁で内野安打を放った小林

写真 菊池美紀、成田夏海  
堀江あゆみ  
文 水出綾香

同点で迎えた3回、山下高久雅(法3)の左前適時打、小林勇登(経2)の内野安打などで2点の勝ち越しに成功する。

だがその直後、「情けなかった」と先発・白崎勇が左越2点本塁打を許す。試合は振り出しに戻り、その後は両者無得点のまま回を重ねて行く。

均衡は8回に破られる。内野安打と敵失が絡み1死一、二塁とすると、笠間のバットが快音を響かせ、3点本塁打を左翼スタンドに叩き込む。大一番で意地を見せた笠間だが、「ホッとしてよかった」。チームが勝てたのがよかった。あくまで主将の

正念場での勝利をものにした駒大だが、主将・笠間は「明日勝たなきゃ意味がない」と気を引き締め、気持ちを2戦目に向けて、悲願の1部昇格に向け、目の前の勝ち点を取りに行く。

笠間の本塁打を受け「絶対に点をやらないって気持ちだった」と白崎勇。残りの回を3者凡退に打ち取り、打線の援護に見事に応え、完投。エースの気迫の投球は「尻上りに良くなってくれた。さすが白崎勇」と指揮官を唸らせ

【駒大】	打安点
⑥岡	300
④赤木	310
⑤白崎	410
DH北畠	100
HD山本	100
HD森田	100
RD松尾	000
⑦山下	311
③笠間	313
⑧小林	431
⑨民法	300
H9嘉数	100
②戸柱	100
2上村	300
計	3175

▽本塁打=笠間

	回	打安責
○白崎勇	9	3662